

「第13回 WORK SHOP 成膜」のご案内

(参加・プレゼンテーションのすすめ)

特定非営利活動法人シーズとニーズの会が、毎年1回開催してきた「WORK SHOP 成膜」は、今年で13回を迎えます。

「成膜」は、日本のものづくりを支える加工技術の粋、Dry~Wet あらゆる膜づくりと、薄くても多様・多彩な機能を持つ素材とその用途開発、それらを可能にする様々な周辺技術をも対象にします。

□ 基本的に参加社の(者)のプレゼンテーション(有料)でプログラムを構成

運営上の特長

□ 当日だけのイベントに終わらせないために、保存用資料(各社の技術・営業資料)を制作・配布

□ テーマ・分野が多岐にわたるので、全体会議と分科会(3室で)を組み合わせる

プログラム構成

【技術・装置・システム】

「フィルムコンデンサ用巻取り蒸着装置装置」	アルバック
「半導体製造装置治具用溶射」	ネオス
「わが社の最新メッキ技術」	太洋工作所
「Thermal Transfer Method による微細列の印刷形成」	ゼネラルテクノロジー
「噴霧熱分解法による耐食性保護皮膜形成技術」	ネオス

等

(約18件を予定)

【材料・応用・用途開発】

「わが社の光学フィルムへの取組み」	三井化学
「無線LAN用シールドフィルム」	三菱電線工業
「焼成不要の銀ナノ粒子」	三菱製紙
「モスアイ型無反射フィルムの開発」	三菱レイヨン
「機能付与ハードコートフィルム」	中井工業
「成膜でのフッ素樹脂活用技術」	日本フッソ工業

等

(約18件を予定)

プレゼンテーションについて

- 展示(参加者は無料)
- スピーチ(1件約15分を予定)



全体会議の様子(第11回)

【受託加工業の模様】

尾池ファインコーティング
 顕光
 ラボ
 日本マイクロコーティング

等

【重要応用分野】

「有機ELの現状動向と技術、特に膜課題、そして将来をどう見るか」
 品川幸雄(富士フィルム)をまとめ役として
 下記3氏によるシンポジウム風
 ・ 當摩照夫氏(技術コンサルタント)
 ・ 津上備一氏(トッキ)
 ・ 鶴岡育弘氏(ソニー)

【重要応用分野】

「太陽光発電の動向と膜課題」
 太和田善久(カネカ)をまとめ役として
 下記各社参集してのやりとり
 ・ アルバック
 ・ 薄膜ソフト
 ・ YOCASOL
 ・ NanoGram K.K.
 ・ クリーンベンチャー21

等

【伝統技術その他】

「毛筆の技」 熊野筆の白鳳堂(広島)

【重要応用分野】

「タッチパネルの動向と膜課題」
 板倉義雄(タッチパネル研究所)をまとめ役として、最新型携帯への応用(例えばシャープ)の他、
 ・ 日東電工
 ・ 日本写真化学 等 出席依頼中

【CNTの活用・応用】

遠藤守信(信州大学)
 (CNT製造メーカーからの出品も)



展示室の様子(第12回)

プログラムの完成

(8月中旬予定)

参加申込者にお届けしますので、分科会選択の参考にしていただく。

懇親会



終了後1Fレストラン「朱雀」

この「会」は講演会ではありません。

WORK SHOPはお互いの仕事づくりの作業場。双方向通信、全員参加型、ビジネス直結型でありたい。